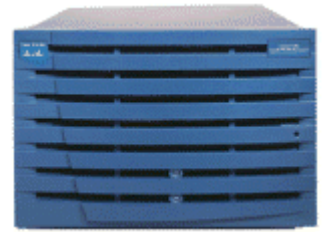


サービス拡張シェルフ (SES)

SESには2つの主要な用途があります。1つは、Cisco IGX 8400へのフィードとして追加して、MGX 8850やMGX 8220のサービスモジュールをCisco IXG 8400でも利用できるようにすることです。もう1つは、SVC/PNNI (Switched Virtual Circuit/Private Network Node Interface) コントローラとしてIGX 8400またはBPX® 8600に追加して、SVCシグナリングおよびPNNIルーティングを統合するとともに、SPVC (Soft Permanent Virtual Circuit) 接続をサポートすることです。SESでは、64kbpsからOC-3までのインタフェースをサポートします。サポートされるサービスには、フレームリレー、非同期転送モード (ATM)、回線エミュレーションがあります。



サービス拡張シェルフ

主な機能

1台のSESで最高80のサービスポート
 高速なT3/E3および高密度なn x DS0/DS1フレームリレーサービスインタフェース
 ATMバックボーン (AAL1) におけるT1/E1/T3/E3構造化および非構造化回線エミュレーションサービス
 ATMサービスインタフェース用のIMAユーザーネットワークインタフェース (UNI)
 SVC/PNNIコントローラ

アーキテクチャ

シャーシには、通常の高さのモジュールが10個(倍の高さのモジュールであれば5つ)収容できるスロットがあります。また、オプションの冗長SES-PXMプロセッサモジュール用に2つのスロットが用意されています。SES-PXMはMGX 8850 PXM1の設計に基づいているため、PXM1と同じ処理能力を持っています。スロットあたりの使用可能な帯域幅は160 ~ 320Mbpsです。

SESは、SES-PXMプロセッサモジュールからOC-3/STM-1リンクを経由してIGX 8400またはBPX 8600に接続します。接続先は、IGX 8400であればUXMモジュール、BPX 8600の場合はBXMモジュールとなります。Y字型ケーブル (シングルモードファイバのカード専用) および自動保護スイッチ (APS) によって、冗長なリンクがサポートされます。IGX 8400またはBPX 8600に接続できるSESシャーシの最大数は4つです。PNNI/SVCコントローラの場合は、制御されるスイッチにつき1つのSESが必要になります。最初のリリースでは、フィード機能またはコントローラ機能のいずれかのサポートを予定しています。フィード機能とコントローラ機能の両機能の同時サポートは、将来のリリースで予定しています。

ネットワークインタフェース

モジュール	インタフェース	機能
ATMユーザーサービスモジュール (AUSM)	8ポートのT1/E1 ATM UNI	ATM UNIモジュール ATM IMA UNIポートによる UXMモジュールの補完
フレームリレーサービスモジュール (FRSM)	2ポートのT3/E3 またはCT3 2ポートの最高速度HSSI (ポートあたり52Mbps)	高速インタフェースによる UFM-CおよびUFM-U モジュールの補完
回線エミュレーションサービスモジュール (CESM)	8ポートのT1/E1 2ポートのT3/E3	ATM (AAL1) ベースのT1/ E1回線エミュレーション 1ポートCVM-TT回線 エミュレーションの補完

SVC/PNNI コントローラ

SES/PNNIコントローラは標準ベースのVSIコントローラで、PNNI、SVC、SPVCの機能セットを完備したスイッチを制御します。サポートされる機能は、以下のとおりです。

ATM UNI 3.0/3.1/4.0 SVCおよびSVP (固定ビットレート [CBR]、可変ビットレート [VBR]、ユニバーサルブロードバンドルータ [UBR]、使用可能ビットレート [ABR])
 ATM SPVCおよびSPVP (CBR、VBR、UBR、ABR)
 フィードポートにおけるSPVC
 PNNI 1.0 シングルピアグループ
 PNNI階層 (複数ピアグループ)
 IISPとPNNIとのインタワーキング
 E.164 & NSAP (データ通信チャンネル [DCC]、ICD、E.164) アドレッシング
 アドレスフィルタリング (送信元および宛先)
 ILM1 3.0/3.1/4.0
 DS-1、DS-3、OC-3、OC-12の各インタフェース
 コールプロセッサの冗長性 (ホット・スタンバイによるコールの維持)
 CDRレコード生成
 SPVC用の拡張IISPサポート

技術仕様

物理仕様および電気仕様

カードスロット容量	プロセッサモジュール用に確保された倍の高さのスロット×2 最大10個の通常の高さのサービスモジュールまたは最大5個の倍の高さのサービスモジュールを装着可能
寸法	奥行き:23.5インチ(ケーブル管理を除く) 幅:17.72インチ(ラック取り付け用ブラケットを除く) 高さ:12.25インチ(オプションのAC電源トレイを除く) 高さ:14.00インチ(オプションのAC電源トレイを含む)
重量	最小重量:40ポンド 最大重量(AC):145ポンド 最大重量(DC):110ポンド
AC電源	入力電圧範囲:90~264 VAC 最大入力電流:100 VACで12 Amps、200 VACで7 Amps 最大電力:1,400 W 周波数:50-60 Hz
DC電源	入力電圧範囲:42~56 VDC 最大入力電流:30 Amps 最大電力:1,200 W 効率:97%

動作環境

温度	動作時:10 ~ 40、短時間(72時間)であれば5 ~ 50、 推奨20 ~ 30 非動作時:-25 ~ 70
湿度	動作時:5%~95%(結露なきこと) 非動作時:0%~95%(結露なきこと)
高度	動作時:40 ~ 9,843フィート 非動作時:25 ~ 15,000フィート

規制への準拠

電磁互換性(EMC)	EN55022:1998(EU) 47 CFR 15(FCC) AS/NZS 3548:1995(オーストラリア) EN300 386-2:1997 ETS 300 386-1:1994 EN61000-4-2:1995 EN61000-4-3:1995 EN61000-4-4:1995 EN61000-4-5:1995 EN300 386-2
安全性	UL 1950, CSA C22.2 No. 950, EN60950, AS/NZS 3260, IEC 60950 IEC 60825-1, EN60825-1
テレコム	FCC 47 CFR Part 68 Industry Canada CS-03 ITU-T G.703 ANSI T1.102 ANSI T1.107 ANSI T1.105.06 ITU-T G.957

©2000 Cisco Systems, Inc. ALL rights reserved.

Cisco と Cisco Systems は商標です。Cisco のロゴは Cisco Systems, Inc. の登録商標です。

この文書で説明した商品、サービスはすべて、それぞれの所有者の商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークです。

本仕様は予告なしに変更される場合があります。



日本シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

E-mail:info-jp@cisco.com

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビルディング9F

TEL.03-3342-4100 FAX.03-5219-6060

大阪支社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪第二森ビル

FAX.06-6397-9580

お問い合わせ先